



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2019th

令和2年1月7日

1月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

いよいよやって来た2020年

校長 鶴飼 数夫

明けましておめでとうございます。令和2年、西暦2020年の年明けと共に、子どもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。学校の年度は、3月まで令和元年度ですが、暦が改まると気持ちも何となくリセットされて新たな気分が生まれてきます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

いよいよ2020年がやって来ました。新しい時代の到来にわくわく感が高まります。それは、夏に東京オリンピック・パラリンピックが開催される事が現実のものとして実感できるようになり、その期待に胸が膨らむからだと思いますが、教育界では、この4月から新しい学習指導要領が小学校において完全実施されます。本校においても、それに対応する新しい教育課程を整備しているところです。大きなコンセプトとしては、新しい時代の要請に応えられる資質や能力を育成するために、教育内容や重点項目、評価の観点・方法などが変わってきます。具体的な内容については、今後の学校だより等で漸次ふれていくことにします。

さて、右上の写真を見てください。これは、本校の5年生が、総合的な学習の時間を使って作った正月のしめ飾りです。松の内の本日まで職員玄関に飾ってあります。これは、自分たちが育てたバケツ稲収穫後のわらを使って作りました。学校の玄関だけでなく、ケアプラザなどの地域の施設にもお願いして飾っていただいています。もちろんプロが作ったものではないので、形などは不揃いですが、子どもたちが心を込めて一生懸命作り、素朴で可愛いものになりました。

5年生が、ここにたどり着くまでには様々なドラマがありました。春先に、社会科で扱う農業の学習と関連して、自分たちで稲を栽培してみようということで、バケツを使って種籾から育てました。実際に農家が田んぼで稲作を行うことをバケツという小さな空間で疑似体験するわけですが、簡単にはいきません。バケツに土と肥料を入れて水を張るだけでも大仕事です。その後成長に合わせて水を管理したり、雀対策をしたりと苦労は続きます。その間、この米を収穫したらどうしようかという話し合いが続きます。「パーティーを開いてみんなで食べよう。」「おにぎりにしたらおいしそうだね。」「そんなにたくさん穫れるのかな。」など夢はどんどん膨らみます。ところが、稲穂が頭を垂れる秋の収穫期を迎えてもなかなかそのように実りません。「どうしてだろう。」「何がいけなかったのかな。」などと考えても答えは出てきません。「自分たちの取り組みは失敗だったのか？」決して失敗ではありません。確かに、頭初の目標にはたどり着くことはできませんでしたが、その事が明らかになったときに、みんなで話し合い目標を修正して今に至りました。

このような学習過程を問題解決的学習といい、あらゆる教育活動の場面で大切にされています。とりわけ総合的な学習の時間は、その本丸といえます。これは、〇か×かクイズのように正解を求める学習ではなく、みんなが納得するような合意を形成していく学習です。つまりこれが正解という答えはないのです。当然、テストなどで点数化して評価できるものではなく、その形成過程での取り組みが評価されていくものです。

新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領では、これまで以上にこのような学習が重要視されています。本校においても、さらに指導法の研究を進めて参ります。



本日(1月7日)の職員玄関